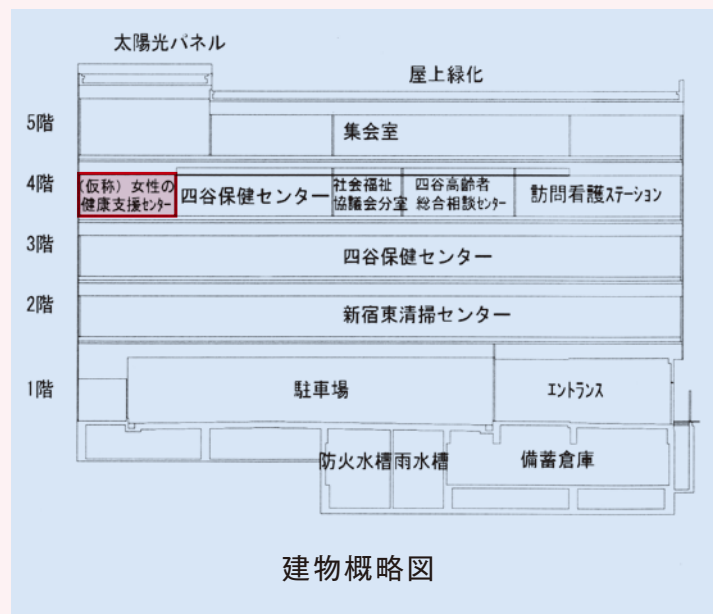


# 「(仮称)女性の健康支援センター」が いよいよ開設されます！



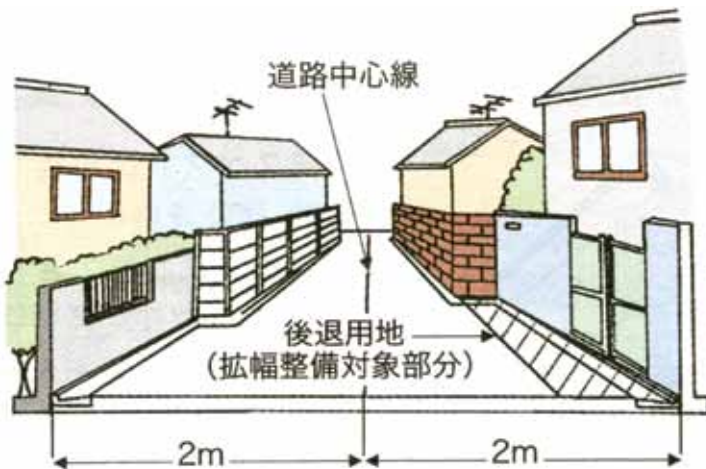
7月2日、保健・医療と福祉の複合施設と、ごみ減量拠点の(仮称)四谷保健福祉施設・清掃センターの建設起工式が行われました。「四谷保健センター」の一角に、私が平成21年第1回定例会で提案した、女性の生涯を通じた健康づくりの拠点として女性健康支援センターが、いよいよ開設されることになりました。会議室、相談室、学習・展示コーナーなどの機能が、予定されています。26年2月に、オープンします。



## 7月から、住まいの耐震化支援事業の補助対象を拡大しました！

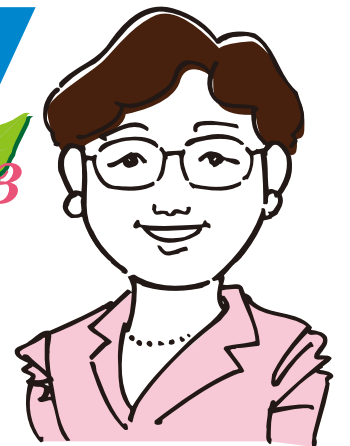
### 《新たな補助対象の条件》

- ★無接道敷地の建物⇒台所など火器使用室の内装の不燃化
  - ★道路に突出の建物⇒突出部分を将来解消する旨の確認書の提出
- 平成24年度6月補正で、対象を20件見込んで、2460万円予算が、組まれました。是非ご利用ください。



# 新宿区議会公明党ニュース あかば通信

No.33

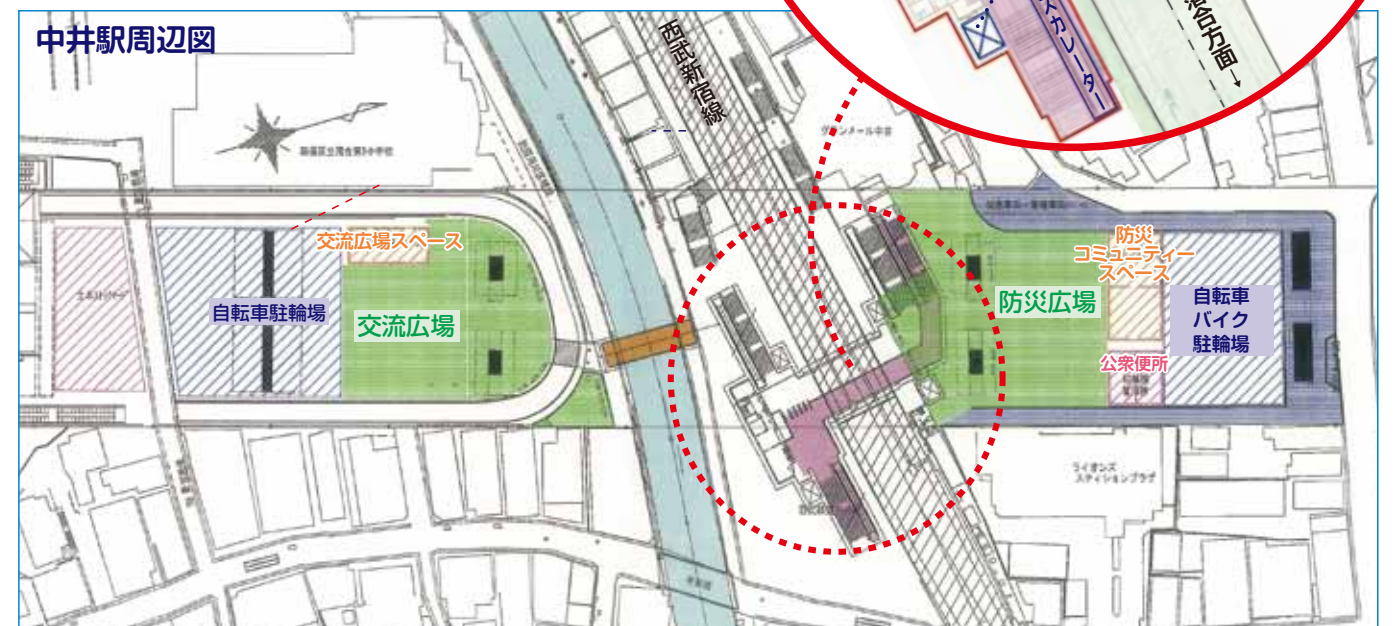
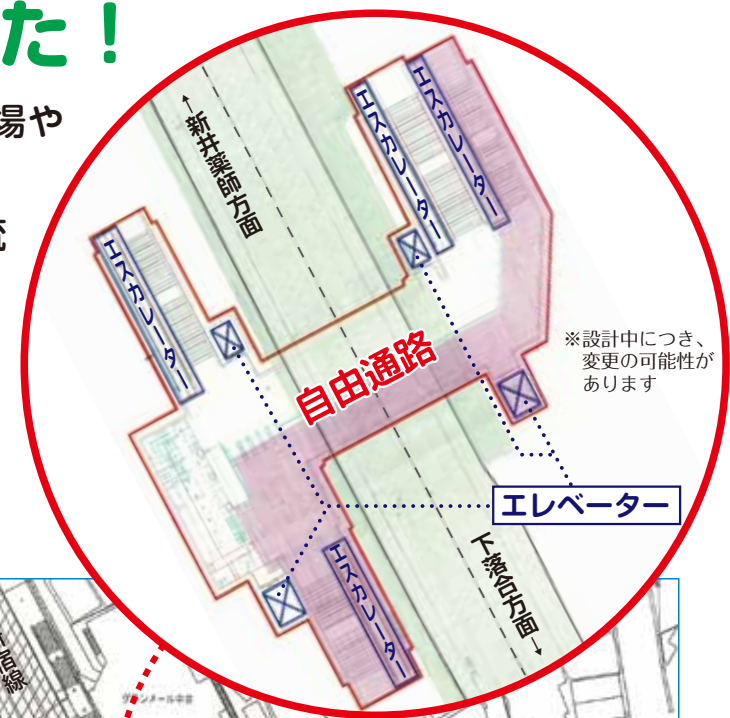


発行 新宿区議会公明党 赤羽 つや子 発行日 2012.7.15  
〒161-0032 東京都新宿区中落合1-21-3  
TEL&FAX 03-3366-0164  
(Eメール) akaba2@cpost.plala.or.jp

# 中井駅周辺の整備

## 「北側、南側それぞれの広場」 「中井駅の南北を繋ぐ自由通路」の 設計案が決定しました！

- 「北側を防災広場」自転車・バイク駐輪場や防災コミュニティスペース、公衆便所など
- 「南側を交流広場」自転車駐輪場や交流広場スペースなど
- 「南北自由通路」中井駅の構内外から地下に通り返ける
- 「中井駅バリアフリー化」エレベーター4台・エスカレーター4台設置





# 新宿区議会第二回定例会で新たな防災の取り組みを提案、防災対策を前進させました！

(6月8日～6月19日)

地域  
防災

## 地域の防災力底上げのために…

①防災サポーターの増員への取り組み強化を推進します。

⇒団塊の世代への働きかけや、地域の大学との連携へ

②「学校に児童・生徒がいる時間帯の発災を想定した訓練」の実施を提案

⇒学校主催の避難訓練にあわせて地域の避難所運営訓練の実施の取り組みを推進

⇒地域が主催する避難訓練へ、児童・生徒の参加の呼びかけ



③誰もが気軽に参加できる定期的な防災講習会の開催へ

⇒消防署との連携により、応急処置法の講習

⇒防災アドバイザーによる

防災講話



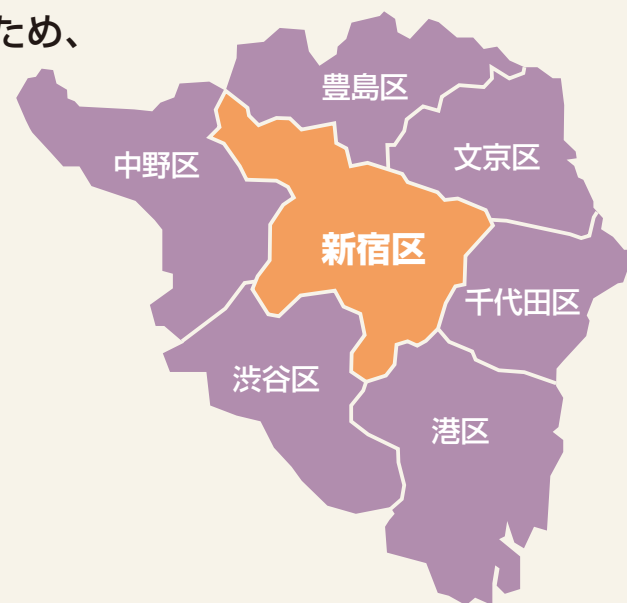
広域  
防災

## 隣接区の避難所 相互受け入れ

地方公共団体間の相互応援等を円滑化するため、  
平素の備えの強化を提案

「新宿区が中野、豊島、文京など六つの区に囲まれているため、震災時には、隣接区の避難所に身を寄せなければならない区民が出る」と指摘。

⇒★隣接区との円滑な相互避難をはじめ、共同訓練の実施に向けた協議の実施を推進！



広域  
防災

## 子どもの安否情報をホームページに掲載

区内や、区外の帰宅困難者に対して、「正確」「迅速」「継続的な」情報発信が重要

《区外にいる帰宅困難者となっている区民へ》

⇒区立小中学校、幼稚園、保育園等での、子どもの安否情報や、避難所への避難状況を、区災害用ホームページで知らせる事の検討を提案。



《区内に滞留している帰宅困難者へ》

⇒エリアワンセグ放送や、大型ビジョン等による、駅前滞留者のための、一時滞在施設への避難誘導を行うことを推進。



## 消火栓からの給水を訓練

5月24日、東京都水道局と新宿区合同で行った、百人町ふれあい公園近くの消火栓を活用した住民への給水訓練に参加しました。この給水方式は、消火栓などに仮設



の給水栓を接続して行うもので、給水拠点まで水を取りに行く方式や、車両による給水を補完する手段です。もちろん出てくる水は、水道水と同じで、飲むことができます。この仮設給水方式は、都議会公明党が、災害時に身近な場所の消火栓を活用できるよう提案したものです。

### 仮設給水方式(消火栓からの給水)による給水が実施される条件

- ①災害発生から時間がたち、消火活動が収まっている
- ②緊急車両の通行を妨げない広い場所のそばに消火栓があり、給水拠点からも離れている
- ③汚水の混入などを想定した水質検査を行い、安全が確認されている